

学校名	福島県立田村高等学校	校長	尾形 幸男
住所	福島県三春町字持合畑88-1		
TEL	0247-62-2185	URL	https://tamura-h.fcs.ed.jp

創立 100 周年に向けて BE REBORN TAZURA H-S



本校は大正12年(1923年)に創立され、地域とともに歩みを重ね、まもなく100周年を迎えます。校章は、春山新三氏(田村中学校第1回卒業)のデザインで、昭和23年(1948年)に制定され、田村の「田」の字を縁取り「高」の俗字をレリーフとして、質実と貞淑の校風を簡明に表現したものです。校訓は、平成4年(1992年)に創立70周年を記念して制定されました。題字は渡辺俊太郎<絃川>氏(田村中学校第15回卒業)の揮毫です。校歌は、天野多津雄氏作詞、岡山直氏作曲によるもので、昭和26年(1948年)に制定され、後半で男性パートと女性パートに分かれるという、非常にめずらしい2部合唱の楽曲となっています。最近ではコロナ禍の中で叶いませんが、卒業式を始めとした式典等で本校生は高らかに歌うため、聴く方に感動を与えています。

卒業生は3万人に及び、数多くの優秀な人材を輩出しています。登山家であり、日本人女性としてはじめてエベレスト登頂に成功した田部井淳子さん(昭和33年卒・2016年逝去)や、農学者・発酵学者の第一人者である小泉武夫さん(昭和37年卒)など、多くの方々が各界で活躍しています。

今夏に開催された「東京 2020 オリンピック」には、平成 25 年度卒業生の近内三孝選手が出場し、同「パラリンピック」には、令和 2 年度卒業生の橋本勝也選手が出場して銅メダルを獲得しました。卒業生がオリンピック・パラリンピックに同時に出場したことは、100 周年に彩りを添えるとともに、在校生に勇気と力を与えてくれました。橋本選手は、本校にとって初めて迎えた車いすを使用する生徒でしたが、校内で昇降機や介助員の配置等を行うことで、元気溼刺と学校生活を送っていました。



三春町ボランティアに参加



平成 4 年、県内唯一となる体育科を設置し、体育・スポーツ分野において、県内はもとより全国のフロントランナーとして活躍しています。毎年インターハイには 50 名近くの選手を輩出し、特に陸上競技部は第 10 回全国高校女子駅伝で優勝を飾り、柔道部は県高校総体 20 連覇を誇り、更なる高みを目指しています。ソフトテニス部の男子は 11 連覇を含む 23 回の県高校総体優勝を、女子は 10 連覇を含む 15 回の優勝を誇ります。ウエイトリフティング部、ボート部、アーチェリー部は全国大会優勝や数々の入賞を果たしており、運動部はもちろん、文化部も活発に活動しています。

また、本校は地域に根ざした学校として、三春町とも密接に連携しています。春には滝桜観光ボランティアや愛姫行列に参加しています。昨年度からは町の各方面の方々のご協力のもと魅力向上委員会を発足させ、「学力向上」「地域協働連携」「競技力向上」の各部会では、活発な意見交換を行っています。さらに、本校生に対する「応援助成金制度」の創設や、麻布教育研究所から講師を招いての「授業研究」の実施など、学校教育の充実に向けた取組も行っています。

敷地内には、四季折々の花木があります。春には三春の名のごとく桜、桃、梅が絢爛に咲き誇り、夏には樹齢を重ねた松が青々と生い茂り、秋には银杏や紅葉が綺麗に色づき、来校する方を温かく迎えます。意気溼刺とした校風の中にも、ひたむきに努力する本校生の姿は、まさに「文武両道」そのものです。

【校長より】 創立100周年を間近に控えて、数々の歴史と伝統を紡いできた同窓生の皆様に敬意を表するとともに、関係諸機関や保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対し深いご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。これからも在校生や未来の田村高校生が胸を張って母校を誇れるよう学校作りに邁進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。